



みなくち子どもの森と周辺にすむ主な カタツムリたち



チビクロイワマイマイ

- ・成貝は殻の直径40mm強
- ・体（軟らかい部分）表面に黒ゴマ模様。山手にはイブキクロイワマイマイ



クチベニマイマイ（無紋型）

- ・成貝は殻の直径30mm強
- ・体の背面に二本のスジ。ピンク色の模様と高さのある立体的な殻。



コベソマイマイ

- ・成貝は殻の直径35mm強
- ・裏面の中心の穴（へそ）が小さい。殻は頂部から滑らかに拡がる



ナミマイマイ

- ・成貝は殻の直径40mm強
- ・体の背中中央に黒いスジ。平べったい殻の形

ニッポンマイマイ

- ・成貝は殻の直径15mm強
- ・体の縞模様が殻から透ける。殻の形には様々なタイプがある。

実際の大きさ



すんでいる環境（カッコ内は希な場合）

- ：神社やお寺の古い森
- （緑）：雑木林
- ：荒れた草地・やぶ
- （赤）：畠・公園・住宅地



クチベニマイマイ



(● ● ○)

クチベニマイマイ
(無紋型)

チビクロイワマイマイ



ギュリキマイマイ



コベソマイマイ



(● ● ○)



ニッポンマイマイ



(● ● ○)



ウスカワマイマイ



(○ ○ ●)

ケハダ
ビロウドマイマイ

オオケマイマイ



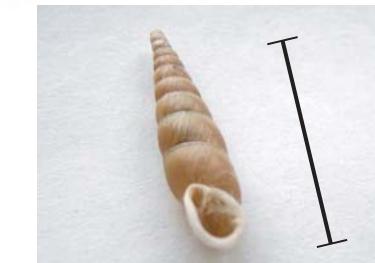
(●)



ヤマクルマガイ



(● (●))



ナミギセル



カタツムリはのろいので、土地が大きく開発されると逃げられず絶滅します。また、新しい良い環境にも、なかなかやって来ることができません。そのため、人の多い平地では、多くの種類が古い庭や寺社の森にしか見られなくなりました。